

本人と家族の“繋がり”

父は、2年前に認知症と診断されていたのですが、見守り程度で介護保険サービスは必要ありません。仕事をバリバリしていたこともあり、地域の人との繋がりはありませんでした。いくつかデイサービスには行ってみたのですが、本人は「行きたくない」と言います。でも、認知症カフェにだけは来るのです。楽しそうに話す父親をみることができます。



リラックスした“語り”

母は、認知症と3年前に診断されました。共働きであり、ケアマネジャーさんには施設利用を勧められたのですが、どうしても決心が付きませんでした。認知症カフェに参加し、参加者同士でリラックスして話をする母を見ると、「施設でも大丈夫」と思えるようになり、決心が付きしました。



参加してみませんか？

認知症カフェ 2026



認知症カフェは、本人・家族が集い
リラックスしたなかで交流を楽しむ場所です

認知症のことを“知る”

妻は、認知症と診断されてから自信を無くしています。でも、認知症カフェに来てみて、参加者の語りから認知症のことを本人が知ることで、少しずつ前向きになってきました。本人も家族も認知症について一緒に学び、知る機会があるということは本当に助かります。

“地域”と繋がりをつくる

夫は、初期の認知症と診断されたのですが、特に介護保険サービスも必要ありません。病院では、できるだけ地域との交流を図るようと言われましたが、本人は乗り気ではありません。外出しても買い物程度で人と話す機会はあまりありませんでした。そこで認知症カフェに来てみると、そこに集う人は理解をしてくれる人ばかりで、とても楽しく過ごすことができます。

市内の認知症カフェ一覧

記載の地区以外からの参加も可能です

今市 オレンジカフェ いずも

会場 / ラピタ本店2階 縁
開催日 / 毎月第2・4金曜日
時間 / 13:30~15:00
主催者 / 認知症の人と家族の会
島根県支部出雲地区会
参加費 / 100円

今市 おひさまカフェ

会場 / 出雲医療生協
在宅支援センター
開催日 / 保育園行事に合わせて
開催
時間 / 10:00~11:00
主催者 / 出雲医療生協
在宅支援センター
参加費 / 無料

鳶巣 みかんの木

会場 / 島根県立大学
出雲キャンパス
開催日 / 毎月第3水曜日
時間 / 16:30~17:30
主催者 / 出雲キャンパス担当者・
みかんの木サークル
参加費 / 無料

斐川地域 ほっこりカフェ

会場 / 斐川地域内の会場を
移動
開催日 / 奇数月の第3火曜日
時間 / 14:00~15:00
主催者 / シャンシャンクラブ
有志・ひかわ医療生協
参加費 / 100円

久木 久木ほっこり カフェ

会場 / 久木コミュニティ
センター
開催日 / 毎月第3木曜日
時間 / 14:00~15:00
主催者 / 久木地区有志・
ひかわ医療生協
参加費 / 100円

今市 だんだんCafe

会場 / 出雲医療看護専門学校
開催日 / 学校行事等に合わせ
開催
主催者 / 出雲医療看護専門学校
参加費 / 無料

大社 オレンジカフェ in たいしゃ

会場 / 大社行政センター2階
大会議室
開催日 / 5/28(木)、9/3(木)、
11/26(木)
時間 / 13:30~15:00
主催者 / 認知症の人と家族の会
島根県支部出雲地区会
参加費 / 100円

お問い合わせ ☎

※記載の開催情報は変更の
可能性があります。
詳しくは、次の連絡先へ
お問い合わせください。
出雲市認知症地域支援推進員
(☎ 0853-25-7708)
出雲市役所 医療介護連携課
(☎ 0853-21-6106)

認知症ケアの推進について

出雲市は「認知症になっても笑顔で暮らせ
誰もが安心して認知症になれるまちづくり」を進めていきます

日本では急速に高齢化が進み、それともなあって認知症の人も増えています。認知症になると何も分からなくなる、何もできなくなるといった偏見が現在も根強く残っていて、このような偏見が自分が認知症になる事への受け入れを困難にするとともに、認知症の人の社会的な孤立や、認知症の人の意思が十分に尊重されないといった状況を招いています。

このような背景を踏まえて、認知症の人を含めた国民一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮し互いに尊重し支え合って共生する活力ある社会を実現するため、「**共生社会の実現を推進するための認知症基本法**」が制定され、2024年1月1日に施行されました。

認知症基本法では、国が策定した基本計画を基に市町村は認知症施策推進計画の策定に努めることとされ、本市では「出雲市認知症施策推進計画」を、2025年1月に策定しました。

今後、認知症の人やその家族等と共に認知症施策を推進し、誰もが認知症になりうる中、市民一人ひとりが認知症の正しい知識を持ち、認知症の人が基本的人権を有する個人として希望を持って生きるという考え方（新しい認知症観）を自分ごととして理解し、実践することで、「認知症になっても笑顔で暮らせ、誰もが安心して認知症になれるまちづくり」を進めていきます。

（改訂第3版 出雲市認知症ハンドブックから）

